

令和5年度シラバス（地理歴史）

44 新潟県中央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
地理歴史（地理総合）	2	1	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	高等学校新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）			

1 学習の到達目標

- (1) 地図や地理情報システムなどを用いて、地理に関する様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技術を身につけようとする。
- (2) 地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を地理的な課題の解決に向けて構想する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養い、我が国と世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を養う。

2 科目の特色・指導の重点

中学校社会科との連携を図るとともに、世界の生活文化の多様性や防災、地域の課題に関心をもち、次年度以降の、歴史、公民につながるよう ICT による情報の収集や作業学習をしっかりと取り入れたい。

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ、地図の読図や作図、衛星画像や空中写真、景観写真の読みとりなど、地理的技能を活用している。 資料活用の技能や地理情報活用方の技能を活用している。 情報の収集・分析に情報通信ネットワークや地理情報システムを活用している。 	定期考査 小テスト 作業学習 授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による） レポート
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的諸事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方考え方から考察している。 日本と比較し関連づけて考えている。 世界の様々な問題を地球的、地理的視野から考察し、公正に判断している。 	定期考査 小テスト 作業学習 授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による） レポート
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的な諸事象・諸課題について、興味・関心を持って意欲的に学習し、理解しようとしている。 国際社会に主体的に生きる国民としての自覚を持ち、授業に意欲的に取り組もうとしている。 作業学習・調べ学習に意欲的に取り組もうとしている。 	定期考査 小テスト 作業学習 授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による） レポート

4 学習の計画 (①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度)

学期	学習項目	時数	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学 期	第1部	6	・地図と地理情報システムの役割を理解し、適切な活用の仕方をする。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・作業学習 ・授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による)
	1章 地図と地理情報システム						
	1節 地球上の位置と時差						
	2節 地図の役割と種類						
	2章 結びつきを深める現代世界	6	・国内や国家間の関係を理解し、世界的視野から見た日本の位置を考察し、表現することができるようにする。		○	○	
	1節 現代世界の国家と領域						
2 学 期	2節 グローバル化する世界						<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・作業学習 ・授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による)
	第2部	6	・地形により、生活文化の多様性や変化する様子を理解する。	○		○	
	1章 生活文化の多様性と国際理解						
	1節 世界の地形と人々の生活	6	・気候が生活に与える影響を理解し、各気候要素の特徴を考察し、表現できるようにする。	○		○	
	2節 世界の気候と人々の生活						
	オセアニア・東南アジア						
3 学 期	3節 世界の言語・宗教と人々の生活	7	・イスラーム、ヒンドゥー教の特徴を理解し、地域の産業の推移を考察し、表現ができるようにする。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・作業学習 ・授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による)
	イスラームと人々の生活の関わり						
	ヒンドゥー教と人々の生活の関わり						
	4節 歴史的背景と人々の生活	7	・ラテンアメリカ、サハラ以南のアフリカ、ロシアの社会構造と産業を理解し、その特徴を考察し、表現することができるようにする。	○	○		
	ラテンアメリカ						
	サハラ以南南アフリカ						
	ロシア						
	5節 世界の産業と人々の生活	7	・アメリカ合衆国、東アジア、ヨーロッパの産業構造と生活文化を理解し、その特徴を考察し、表現することができるようにする。	○	○		
	アメリカ合衆国						
東アジア							
ヨーロッパ							
2章 地球的課題と国際協力	9	・地球的課題の各地で共通する傾向や課題相互の関連性を理解し、持続可能な社会の実現に着目して考察し、表現することができるようにする。	○	○	○		
1節 複雑に絡み合う地球的課題							
2節 地球環境問題							
3節 資源・エネルギー問題							
4節 人口問題						<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・作業学習 ・授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による) 	
5節 食料問題							
6節 都市・住居問題							
第3部	8	・国内外、自身の生活圏の自然環境と災害の特性や備えについて理解する。	○	○	○		
1章 自然災害と防災							
1節 日本の自然環境							
2節 地震・津波と防災							
3節 火山災害と防災	8	・防災について、自然及び社会的条件との関係、地域の共通点や差異などに着目して考察し、表現することができるようにする。	○	○	○		
4節 気象災害と防災							
5節 自然災害への備え							
2章 生活圏の調査と地域の展望							
1節 生活圏の調査と地域の展望							

計 70 時間(50 分授業)

5 その他(担当者からの一言・留意点など)

世界の国々や地域には、それぞれの自然環境や社会環境があります。地理の授業では、それらの自然環境や社会環境が人々の生活にどのような影響を及ぼしているか、また、その影響の結果、他の国や地域と比較してどのような地域性が生じているか学んでいきます。地理学習の素材やヒントは、日常生活の至るところにあります。新聞や本、テレビのニュース番組、インターネット等を活用し、国内外に関する様々なことに関心を持ち、理解を深めるように努めてください。

令和5年度シラバス（公民）

44 新潟県中央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
公民（公共）	2	2	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	第一学習社 高等学校 新公共			

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1）現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- （2）現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- （3）よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを養う。

2 科目の特色・指導の重点

- （1）公共的な空間と人間の関わり、個人の尊厳と自主・自立、人間と社会の多様性と共通性などに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方ができるよう指導する。
- （2）主体的に社会に参画し、他者と協働することに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追及したり解決したりすることができるよう指導する。
- （3）自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追及したり解決したりすることができるよう指導する。

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
② 思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
③ 主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・ノート提出

4 学習の計画 (①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度)

学期	学習項目	時数	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	4	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。			○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	5	・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。	○		○	
	第3章 公共的な空間における基本的原理	5	・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。	○			
2 学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	3	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。		○	○	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	主題1 法や規範の意義と役割	3	・法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。	○	○		
	主題2 契約と消費者の権利・責任	3	・契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。	○	○		
	主題3 司法参加の意義	3	・個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解する。	○	○		
	第2章 政治的な主体となる私たち	3	・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。			○	
	主題4 政治参加と公正な世論形成	3	・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。			○	
	主題5 国際社会と国家主権	3	・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。	○			
	主題6 日本の安全保障と防衛	3	・日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。	○			
	主題7 国際社会の変化と日本の役割	4	・国際平和を実現するために必要な日本の役割を理解する。	○			
3 学期	第3章 経済的な主体となる私たち	4	・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。	○			・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	主題8 雇用と労働問題	4	・少子高齢化による労働力不足が問題となるなか、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。			○	
	主題9 社会の変化と職業観	4	・グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において、将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。			○	
	主題10 市場経済の機能と限界	4	・公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。	○		○	
	主題11 金融のはたらき	4	・経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのか理解する。	○			
	主題12 財政の役割と社会保障	4	・少子高齢化が進むなかで、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。	○			
	主題13 経済のグローバル化	4	・経済がグローバル化するなかで、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。			○	
	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	4					
		4					

計 70 時間(50 分授業)

5 その他(担当者からの一言・留意点など)

これから学ぶ「公共」では、小・中学校社会科で身につけた資質・能力を用いるとともに、現実社会の諸課題の解決に向け、自己と社会とのかかわりをふまえ、社会に参画する主体として自立することや、他者と協働して、よりよい社会を形成することについて学んでいきましょう。

令和5年度シラバス（公民）

学番 44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
公民（現代社会）	2単位	3学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等		第一学習社 『改訂版 新現代社会』		

1 学習の到達目標

中学「公民」での学習の学び直しを交えながら、現代社会を政治・経済・社会・文化・環境問題・道徳倫理など多方面から探究し、現代社会の全体像を客観的に把握する力を身につけるようにする。また、現代社会のあるべき姿とそこに生きる人間のあり方を考えられる態度を育て、複雑で多様で現代社会において、他に流されることなく、主体的に生き、民主的・平和的な国際社会を形成する有為な人材となりうる力を養う。

2 科目の特色・指導の重点

- ・現代社会の学習を通して、基本的な用語をしっかりと理解させ、現代社会の実態がどうなっているかを考察できる力を身につけられるようにする。
- ・現在の社会に関心を持ち、その行先を見つめ、将来を展望させる力を身につけさせる。

3 学習の計画

学期	月	単元・学習内容	時間	評価方法
1学期	4	第1編 私たちの生きる社会	5	定期考査 小テスト 作業学習 授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による） レポート
		1 環境と私たちの生活		
	5	2 資源・エネルギー問題と私たちの生活	5	
		3 科学技術の発達と私たちの生活	4	
	6	4 高度情報社会と私たちの生活	4	
		第2編 現代社会と人間としてのあり方・生き方		
		1 青年期と自己の形成		
7	2 個人の尊重と法の支配	4		
2学期	9	3 現代の民主政治と政治参加の意義	5	定期考査 小テスト 作業学習 授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による）
		4 国際政治の動向と日本の役割	8	
	10	5 現代の経済社会と私たちの生活	8	
			11	
	12			
3学期	1	7 民主社会に生きる倫理	3	定期考査 小テスト 作業学習 授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による） レポート
		第3編 とともに生きる社会をめざして		
	2	ケーススタディ	4	
		スキルアップ	3	
3	F I L E	4		
	ゼミナール			

計 70 時間（50 分授業）

4 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。	
関心・意欲・態度	現代社会の諸事情に対し、興味・関心を持ち、さらに自らの生活との関連性を考えようとしている。
思考・判断・表現	現代社会の実態から、そこに存在する課題を多角的、総合的に捕らえ、それに対する適切な意見を持ち、述べようとしている。
資料活用の技能	新聞やインターネットなどの情報から資料を収集、活用して、教科書の表やグラフを理解しようとしている。
知識・理解	基本的な用語をしっかりと理解し、その知識を適切な場面で活用している。
評価は具体的には以下のものを対象とし、多角的、総合的に考察し、判断します。 <ul style="list-style-type: none">・定期考査・小テスト・作業学習・授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答等による）・レポート	

5 担当者からの一言

『現代社会』はインターネットの普及により、様々な情報や価値観が混在し、とかく自分の意見でなく、他人の意見に流されやすい傾向にあります。現代社会の学習を通して、様々な事象の本質を捉えるとともに、自らの考えを意見として他人に伝えられるようになってください。